

季節の花

ひいらぎ
柵 (モクセイ科)

初冬に咲く白い花は、同じモクセイ属のキンモクセイに似た芳香があります。花言葉の「用心深さ」は、この葉にはトゲがあり、無用に近づいたり、さわったりできないことに由来します。

クリスマスの飾りに使うセイヨウヒイラギ(モチノキ科)やヒイラギナンテン(メギ科)がありますが、これらは別種になります。

花言葉「用心深さ」「先見の明」「保護」



晦日と大晦日の違いは？

どうして12月31日のことを大晦日っていうのか知っていますか？

毎月、晦日と呼ばれる日があって、12月31日は大晦日と呼んでいます。大晦日の昔ながらの過ごし方を紹介しますので、ぜひ取り入れて、気持ちの良い年越しをしていただけたらいいなと思います。



～1年を締めくくる最後の「晦日」が「大晦日」～



大晦日は、旧暦の晦日(みそか)が由来しています。

旧暦は月の満ち欠けで暦が決まっていた。新月を1日とし、月が隠れる「晦」の頃がおおよそ30日であったことから、30日を晦日と呼ぶようになりました。今でも30歳を“みそじ”ということがあるように、“みそ”がもともと30の読みであることをみるとわかりやすいです。ところが新暦に変わると、ひと月が30日(または29日)で終わらず、31日まである月も出てきました。

こうして晦日は、月の最終日となるが多かった“30日”という意味から、“月の最終日”という意味に変化したのである。つまり、実際の日付が30日でなくとも**毎月の末日を「晦日」と呼び、晦日の中でも1年を締めくくる12月には大をつけて「大晦日」と呼んでいるのです。**

～大晦日はどんな事をして過ごすの？風習は？～

大晦日は単なる1年の最終日というだけでなく、昔から行われている風習には色々な意味が込められています。新しい年をお迎えするにあたり、身も心もリセットするために必要な習慣として、行っていきたいものです。

・大掃除

お正月にお迎えする歳神様は豊作をもたらす神として、家々を訪れると言われており、歳神様に気持ちよく来ていただくために「大掃除」をして1年のすすを払いきれいにします。



・年越しそば

大晦日から元旦に向けて過ごす年越しの夜には、蕎麦を食べます。

そばは他の麺より切れやすい事から今年一年の災いを断ち切るという意味があります。また、細く長い形状から長生きできますようにという長寿や健康の意味もあります。

・除夜の鐘(じょやのかね)

「除夜の鐘」は12月31日の除夜(大晦日の夜)の深夜0時を挟む時間帯に、お寺の鐘をつくことです。除夜の鐘をついたり、聞いたりして過ごします。「除夜の鐘」は多くのお寺で108回打つことが決まっています。108とは、仏教思想に基づいた煩惱の数だと言われています。「煩惱(ぼんのう)」とは「心を惑わし、身を悩ませる」ものであり、お寺の鐘をつくことで煩惱を一つずつ取り除いて、清らかな心でお正月を迎えるための儀式になります。



あつぎ風土記

「厚木市ができるまで」

「あつぎ」の地名の由来は、木材の集散地であったところから、アツメギがアツギに変化したとか、アイヌ語のヤオロケシ(寄木)から名付けられたのだという説等があるが定説はない。

江戸時代中ごろ厚木村は、宿場町、産業、生産物の交易の場として発達し、貨物は往来にあふれるほど繁盛を極め、小江戸と呼ばれた。

昭和30年2月1日町村合併によって、厚木町、南毛利村、睦合村、小鮎村及び玉川村の1町4箇村が合併して厚木市となり、さらに同年7月には相川村、依知村の2箇村を、翌31年9月には荻野村を編入して今日に至っている。

住考会会員

有限会社 神崎工務店

〒243-0203 神奈川県厚木市下荻野 513-2

046-242-1131

http://www.kanzaki-house.co.jp/

E-Mail: info@kanzaki-house.co.jp

21世紀の住宅供給グループ



Cost Minimum Value maximum